

いさり火

【第7号】

西津小学校

令和8年10月1日



秋の深まりとともに、大きな成長の芽を！

暑かった夏が過ぎ、心地よい秋風とともに、子どもたちが一段と落ち着いて学校生活に取り組める季節となりました。10月は昔から「学びの秋」「運動の秋」「食欲の秋」と言われるように、何事にも集中してじっくり取り組むのに最適な時期です。

「学びの秋」— 深まる探究と集中力

涼しい気候のもと、教室では子どもたちが課題に対してじっくり考え、友達と対話しながら学びを深めています。日々の学習で蓄積された知識が「なるほど!」という実感に変わる時期でもあります。

「運動の秋」— 体力の向上とやり抜く心

校庭や体育館からは、元気な声が響いています。体育の授業や行事に向けた練習を通して、自分の限界に挑戦すること、そして体を動かす爽快感や仲間と力を合わせる楽しさを学んでいます。

「食欲の秋」— 体をつくり、心を育む食育

実りの秋は、給食の食材もいっそう豊かになります。旬の命をいただく感謝の気持ちや、皆で食卓を囲む喜びを通して、心身ともにたくましく育つ基盤をつくっていきます。

今月は陸上記録会・修学旅行・ミュージックデイをはじめ、子どもたちが大きく輝く行事が予定されています。また、次月以降の行事に向けた準備期間でもあります。学校行事は、単なる「思い出づくり」や「日頃の練習成果の発表」だけではないと考えています。行事という大きな目標に向かって「仲間と協働する経験」こそが、学校で学ぶ意義の1つであるとともに子どもたちの生きる力が大きく伸びることに大きく関わっていると思います。



1 「目標に向けて計画・努力する」プロセス

本番当日だけでなく、練習や準備の段階で「どうすればうまくいくか」を自分たちで考え、工夫する経験そのものが学びです。

2 「違いを認め合って協力する」経験

一人ひとり得意・不得意が異なる中で、声を掛け合い、役割を分担し、1つのものを創り上げる「協働」を学びます。

3 「達成感と自信」の獲得

やり遂げた後の「できた!!」「みんなで頑張れた!!」という実感（自己効力感）が、次の日常の学習や生活への意欲につながります。

ご家庭におかれましても、行事に向かって努力するお子様の小さな変化や成長に目を向け、「当日だけの出来栄え」だけでなく、今日まで努力してきた『過程』をぜひ褒めてあげてください。また、もし本番で失敗や悔しさがあっても、それは挑戦した証です。『次にどう活かすか』を一緒に考える機会にしていきたいです。実り多きこの秋、一人ひとりの子どもが自分の殻を破り、大きく成長できるよう、教職員一丸となって支援してまいります。

秋の夜長、親子で本を開いてみませんか！



涼しい秋風が吹き抜け、家の中で過ごす時間も心地よい季節となりました。10月下旬からは「全国読書週間」も始まります。学校でも朝の読書タイムや図書室の利用を通して、子どもたちが多くの本に出会えるよう取り組んでいます。

読書には、語彙力や読解力を伸ばすだけでなく、「他者の気持ちを想像する心（共感力）」や「じっくり集中して考える力」を育む大きな効果があります。しかし、デジタル機器や動画が身近にある現代において、「子どもを本好きにさせるにはどうすればいいか」とお悩みの保護者の方も多いのではないのでしょうか。

ご家庭で子どもの「読書の芽」を育てるために、ぜひ試していただきたい3つのきっかけをご紹介します。

1. 「読んだ冊数」より「お気に入りの1冊」を

「たくさん読みなさい」と声をかけるよりも、子どもが「これ面白い!」と夢中になれる1冊に出会うことが大切です。図鑑、漫画、絵本、コラムなど、ジャンルは何でも構いません。お子様が興味を持ったものをまずは温かく見守ってあげてください。

2. 家の中に「本が目に入る環境」をつくる

机や棚など、手の届きやすい場所に本を数冊置いておくだけで、子どもは自然と手に取るようになります。読書は「勉強」ではなく、「身近な楽しみ」だと感じられる環境づくりが効果的です。

3. 「読み聞かせ」や「本の感想の共有」を楽しむ

高学年の子どもであっても、親に本を読んでもらったり、一緒に同じ本を読んで「これ面白かったね」と話したりする時間は特別なものです。読んだ後のちょっとした親子の会話が、子どもの思考力や言葉の引き出しをぐっと広げます。

読書は、まだ見ぬ世界へ旅をし、多様な生き方や感情に触れることができる最高の冒険です。この秋、ぜひご家庭でも「家中のテレビやスマホを少しお休みして、親子で本を開く時間」を過ごしてみたいはいかがでしょうか。小さなページをめくる音が、お子様の心を豊かに育む素晴らしい時間となりますように。

PTA活動 お世話になります

令和8年度のPTA活動も後半戦に入ります。役員および各委員の皆様をはじめ、会員の皆様方には4月以降様々な場面でのお力添えをいただきありがとうございます。

さて、10/17(土)に第2回の「資源回収」と「奉仕作業」



が計画されています。「資源回収」による収益は、子どもたちの教育活動資金として有意義に活用させていただいています。また、「奉仕作業」では、普段できない校舎内外の清掃活動により安心安全な学習環境を整えていただき、子どもたちは快適な学校生活を過ごすことができます。今回の活動でも大変お世話になりますが、よろしく願いいたします。

